

施策カ ル テ

1 施策の位置付け

担当課	学校教育課
-----	-------

①総合計画 政策の柱	市民の学ぶ意欲と豊かな心を育むために	②政策名 (基本施策名)	信頼される学校教育を推進する	③取組の 基本方向	「信頼される学校教育を推進する」ため、確かな学力を身に付けた児童生徒を育成するための「学力向上の推進」、心身ともにたくましい児童生徒を育成するための「豊かな人間性と健やかなからだの育成」、信頼性の高い、特色と魅力ある学校づくりのための「地域と連携した独自性のある学校経営の推進」、教育施設の安全性・快適性を高めるための「教育環境の充実」、特別な支援を必要とする児童生徒に適切な教育を提供するための「特別支援教育の充実」、教職員の資質・専門性の向上を図るための「高い指導力と情熱をもつ教職員の育成」、生涯にわたる人間形成の基礎を培うための「幼児教育の充実」、市民の自己実現の一翼を担う「高校、高等教育の充実」に、重点的に取り組みます。	④政策目標 (基本施策目標)	信頼される学校教育が推進され、児童生徒が、充実した学校生活を送っています。
---------------	--------------------	-----------------	----------------	--------------	--	-------------------	---------------------------------------

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	高い指導力と情熱を持つ教職員の育成						① 施策の 達成 状況	施策指標(単位)						達成率 (%)
	教育への情熱があり、信頼される教職員が育成されています。							H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	
施策目標								-----	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	-----
施策を取巻く 環境	学力や規範意識の低下、いじめ、不登校など、学校教育を巡る問題が深刻化している中、教職員には、様々な教育ニーズに適切に対応するとともに、使命感や専門性を高め、信頼を得ることが求められている。							「教職員ひらめき提案制度」への応募案件数	100	150	200	250	300	15.0%
							42	45						

②市民の 施策満足度	19.6%	④ 施策 の 評価	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	●	達成していない (70%未満)	説明	教職員は、積極的に研修に参加するなどして資質の向上に努め、わかる授業や充実した学級経営等を行っている。	
			必要性 (住民・社会ニーズ)	●	増加している		横ばい		減少している	教職員一人一人が教育者としての自覚を再認識し、総合的な人間力を身に付け、仕事に対する使命感や責任感を持ち、確かな指導力に基づいた教育活動を実践することがより一層求められる。
			効率性 (事務事業の進捗)	●	十分である		不十分な事業が一部ある		不十分な事業が複数ある	負担金支出研修の受講者数、講座数とも目標値を上回っている。今後とも研修内容の充実を図るとともに、教職員研修の本市単独実施を目指していく。
			有効性 (政策目標への効果)	●	十分である		やや不十分である		不十分である	強い使命感を持ち、高い指導力と専門性を身に付けた教職員を育成することは、信頼される学校教育を推進し、児童生徒が充実した学校生活を送ることができるようにするために有効である。

⑤ 現状 分析 と 抽出	施策の目標は達成されているが、未来を拓くたくましい子どもを育み、活力ある学校づくりを推進するために、教職員の倫理観や使命感、指導力などをより一層高めていくことが求められることから、今後とも、「頼れる教職員」の育成を目指した取組を継続することが必要である。 また、人事権移譲を見据え、人材育成の仕組みを構築するとともに、教員の資質・能力を十分に生かすために、教職員の心の健康づくりを積極的に支援する必要がある。
--------------------------	---

3 今後の取組方針

①取組の 考え方	信頼される学校教育を推進し、児童生徒が充実した学校生活を送れるようにするためには、教職員の資質向上を図ることが極めて重要であり、今後も継続して教職員に対する研修事業や、昨今の教育現場を取り巻く情報環境（ICT）に対応できる指導力の向上等に取組んでいくことが必要である。	➡	②政策評価 会議意見	ひらめき提案制度への応募数が低調なことから、これまでの優秀提案を紹介するなどにより制度の周知に努めるとともに、学校版もったいない運動の趣旨に合う提案を表彰するなど、教職員の業務改善等に対する意識の高揚を図る必要がある。また、教職員が、将来にわたり高い使命感と責任感をもって職務を遂行でき、それぞれの役割においてリーダーシップを発揮し、本市学校教育の充実を目指す人材を育成するためのシステムを構築する必要がある。さらに、教育ニーズの多様化などに伴い、児童生徒指導・保護者の対応などに悩む教職員が増えてきていることから、早急に対策を講じる必要がある。
-------------	--	---	---------------	---

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
1	教職員研修事業 担当課 教育センター	市立小・中学校教職員	H12	全ての教職員研修講座に占める市教職員研修講座の割合(%)	80%	80%	7,946	6,492	A	継続	本市教育の現状と課題を踏まえ、21世紀に生きる子ども一人一人の可能性を最大限に伸ばす教育を推進するために、教職員の基礎的・基本的な資質・能力を確保するとともに、時代の変化や教育現場の課題に、柔軟に対応できる力量の育成に努めている。また今後は、本市教職員の人材育成をより確実なものとするために、本市教育施策や本市が抱える教育的課題等をよりの確に反映した新たな研修体系による研修の実施を目指す。
					58%	67%					
2	教育情報システム事業 担当課 教育センター	市立小・中学校教職員及び児童生徒等	H7	教育情報システム年間アクセス件数	480,000件	510,000件	101,293	113,781	A	継続	コンピュータやインターネットの普及に応じた児童生徒の情報活用能力の育成や、学習指導におけるICT活用の推進、情報セキュリティ・情報モラルなど、教職員として必要なICTに関わる指導力の向上を図るとともに、教育情報システムや学校ホームページにより、学校の情報化及び情報発信を支援し、校務の効率化や開かれた学校づくりを目指すこと。
					482,430件	685,148件					
					600人	600人					
情報教育研修への参加人数					897人	729人					
施策事業費合計							109,239	120,273			